町民のみなさんと歩む 木古内町

議会だより

vol.138
平成29年5月1日発行
●発行／木古内町議会
●編集／議会だより編集特別委員会
〒049-0422北海道上磯郡木古内町字本町218
TEL. 01392-2-3131　FAX. 2-3622

http://www.town.kikonai.hokkaido.jp/kikonaityougikai/kikonaityougikai.htm　木古内町議会　検索

笑顔で横断 ～木古内小学校入学式～

contents

道の駅広場　整備内容が具体化　3月定例会 ―― P2
５名の議員が町政を問う ―― P4
「いさりび」「恵心園」経営統合協議 ―― P10
特集「みんなの予算」をどう使う？ ―― P11
予算審議　ここを聞く！ ―― P15
町民インタビュー　子育て環境は ―― P16

3月 定例会

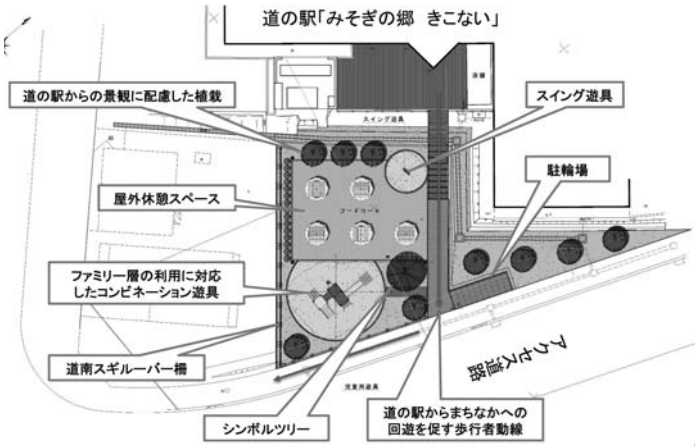
可決された主な議決事項

議案第10号
平成28年度木古内町一般会計補正予算（第８号）
議案第11号
平成28年度木古内町国民健康保険特別会計補正予算（第４号）
議案第12号
平成28年度木古内町国民健康保険病院事業会計補正予算（第２号）
議案第13号
平成28年度木古内町水道事業会計補正予算（第２号）
議案第14号
平成28年度木古内町介護保険事業特別会計補正予算（第３号）
議案第15号
平成28年度木古内町介護サービス事業特別会計補正予算（第１号）
議案第16号
平成28年度木古内町下水道事業特別会計補正予算（第２号）
議案第23号
木古内町税条例等の一部を改正する条例制定について
議案第24号
木古内町介護保険条例の一部を改正する条例制定について
議案第25号
町道路線の認定について
議案第26号
平成28年度木古内町一般会計補正予算（第９号）
議案第27号
木古内町中小企業振興融資条例の一部を改正する条例制定について

※予算関連議案の議案第１号～９号及び第17号～22号までは、平成29年度予算等審査特別委員会へ付託されました。詳細は14ページ～15ページ

道の駅広場 整備内容が具体化

平成29年度予算全9会計 総額83億6千8百万円 原案可決



道の駅南側に整備される広場のイメージ図

平成29年3月定例会初日（3月3日）は、町長の町政執行方針と教育長の教育執行方針が示されたあと、新井田議員、佐藤議員、竹田議員、相澤議員、鈴木議員の5氏により一般質問が行われ、活発な議論がなされました。**（詳細4ページ以降）**

また、平成28年度各会計補正予算など、27件の議案と発議案2件を審議し、いずれも原案のとおり可決されました。

なお、平成29年度一般会計など合わせて9会計予算と予算に関連する議案6件は、予算等審査特別委員会（平野武志委員長）に付託されました。

予算等審査特別委員会は、3月6日から10日（実質5日間）まで開催し活発な審議が行われました。新年度予算では道の駅広場整備工事費、高齢者等入浴券交付、薬師山展望台工事費などの新規事業が盛り込まれています。**（詳細14ページ以降）**

最終日（3月10日）には再度本会議を開催し、予算等審査特別委員会に付託された議案15件と発議案2件を原案のとおり可決して閉会しました。

行政報告

年末 釜谷地区で火災が発生

12月30日午後5時28分頃、釜谷地区で火災が発生し、男性1名が死亡、女性1名が負傷、住宅1棟のほか車庫1棟と物置1棟が全焼し、隣接の車庫1棟の一部が焼損した旨の報告がされました。

なお、出火原因は、ストーブから立ち上がった炎を消火しようとした際に、使用した毛布に火が移り拡大したことによるものです。町より見舞金30万円が交付されました。

水道管破損による漏水が発生

2月27日午後3時頃、大平地区で漏水が発生した旨の報告がされました。この復旧作業により、一部区域で断水が必要になった事から午後4時から防災無線による周知と給水活動を行いました。作業については午後8時30分に終了しました。

条例制定等

町営の学童保育が始まります

「木古内町放課後児童健全育成事業条例（学童保育）」が制定されました。主な内容は次のとおりです。

【主な内容】
○定員…40名
○利用料…月額5千円
※月額に満たない場合は日額3百円～5百円
※児童2人目以降半額
○場所…小学校に併設
○開始…4月3日より

4月3日に開所された町営の学童保育
きれいに改修された施設内（上下写真）

高齢者等入浴無料券が交付されます

「木古内町高齢者等入浴無料券交付条例」が制定されました。主な内容は次のとおりです。

【主な内容】
○交付対象…75歳以上となる方及び身体障害者手帳1～3級に該当する方
○交付枚数…年間12枚
○有効期限…当該年度3月31日までの1年間
○利用場所…町内の入浴施設

議員報酬及び特別職等の給与を改定

職員手当の支給月数に合わせ議員報酬及び町長等の給与が改定されました。改定内容は、手当の支給月数を0.2ヶ月分を引き上げるものです。

補正予算

一般会計

主な内容は次のとおりです。歳出では、各種がん検診等委託料113万4千円、塩蔵ワカメ施設整備事業補助金169万4千円の増額のほか各種事業における実績見込みに伴う減額補正などです。

歳入歳出の補正予算総額は、5509万6千円を減額し、48億6781万3千円となりました。

国民健康保険特別会計

実績確定に伴う減額補正などで歳入歳出の補正予算総額は、913万6千円を減額し、9億5384万4千円となりました。

国民健康保険病院事業会計

交付税措置額の確定などに伴い病院事業収益で4642万1千円を追加し、総額15億86万円になりました。

水道事業会計

主な補正内容は、水道事業広域連携におけるPPP／PFI（※1）導入可能性調査業務委託に伴う国庫補助金3898万8千円を増額し、収益的収入は1億9697万2千円となりました。

介護サービス事業特別会計

居宅介護・介護サービス計画作成費51万6千円を増額し、歳入歳出総額438万8千円となりました。

下水道事業特別会計

実績確定に伴う減額補正などで歳入歳出の補正予算総額は、536万2千円を減額し、2億32万6千円となりました。

同意案

大野　泰氏を副町長に再任

副町長の任期満了に伴い、大野泰氏を選任する同意案が提出され、満場一致で同意しました。

大野　泰 副町長

発議案

議会閉会中の所管事務調査項目の承認

議会閉会中の総務・経済常任委員会所管事務調査項目が承認されました。

【町民課】
○放課後児童健全育成事業（学童保育）について（現地調査）

【教育委員会】
○木古内町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書について
○その他緊急を要する課題について

町議会会議規則の一部を改正

12月定例会より試行的に実施していました一般質問における質疑の回数撤廃に係る会議規則を改正しました。改正内容は次のとおりです。

○一般質問における回数制限の撤廃（3回→無制限へ）
○一項目における質問時間はあらかじめ議長が定める時間（20分以内）で実施（時間制限無→時間設定）

（※1）PPP／PFI…行政と民間が連携して公共サービスの提供を行う手法。

一般質問

5名の議員が

町政を問う

一般質問は、定例議会（年４回）において、町政全般にわたる事項を議員が質問を行い、新たな政策の提案や意見、是正を求めるものです。

新井田昭男　議員

1　シャトルバス（仮称）の運行について

佐藤　　悟　議員

1　町史編さんについて

竹田　　努　議員

1　平成29年度町政執行方針について

相澤　　巧　議員

1　北海道新幹線の騒音について

鈴木　慎也　議員

1　木古内町民の「幸福度」について

新井田　昭男　議員
niida akio

問　シャトルバスの運行で町に活性化を

答　アクセスは充実しており、現状では考えていない ―― 町長

シャトルバス（仮称）の運行を提案します

今後、我が町の地域振興を考えたとき、町民の内需拡大を柱とした総合的な地域振興策を図る重要性・必要性を強く感じています。さらなる消費、購買力の向上を図るためには、交通アクセスの充実が必要と考えています。次の2点について町長の見解を伺います。

(1)現行の医療機関送迎バスとの連携を図り、効果的な町内シャトルバス（仮称）の運行

(2)町内各種イベント時に関係交通機関との連携によるシャトルバス（仮称）の運行

大森町長　(1)利用者数は、多いときに乗車定員に近い利用がありますが、こうした中で、一般のかたが利用することを考えると、医療機関利用者に影響が出ることが心配されます。

一方、町内で利用できる交通機関は、毎日道南いさりび鉄道が9往復、函館バスが6往復しています。更に町内には民間ハイヤー会社がありますので、交通アクセスは充実していると考えています。

また、昨年実施した日常生活圏域ニーズ調査では、買い物方法を尋ねており、何らかの手段により日用品を購入できているとの回答を得ています。こうしたことから、シャトルバスの運行は現在考えていません。

(2)はつらつ演芸会、高齢者スポーツの集い、安全住民大会、町民文化祭ステージ発表など、各種事業に町バスを運行しています。利用者が少ないケースもあり、次年度以降、効率の良い運行を目指し、運行形態も含め検討していきます。

重要な交通手段の一つである
「道南いさりび鉄道」

再質問　私の提案は、医療機関の利用者に支障が懸念されるのであれば、新たにバスを購入して現行のバスとの運行調整を図り、町民の交通費削減など、総合的な経費削減を含めた内容です。

交通の利便性やイベント送迎など理解していますが、地元の購買力を高めるためには、行政が強い指導力をもって実施すべきと考えています。再度町長の見解を伺います。

大森町長　質問の中では地域の活性化、住民の軽減負担、利便性など、様々な課題があります。地域の活性化で考えると、商業では、各店舗が配達など様々なサービスを実践し、企業努力を行っています。このバスが地域の活性化に直結するか疑問があり、リスクの高い提案であると考えています。

佐藤　悟　議員
satou satoru

問　早期に町史編さんを

答　町政施行80周年の発刊を目指す ―― 町長

答弁から6年が経過しています

現在の町史は、昭和57年町政施行40周年に発行されています。私は、平成22年12月定例会において、同様な一般質問を行いました。その時、町長から「重要な課題であり、新年度よりしっかりと編さんの準備を整えます」との答弁があったと思います。それから6年が経過しました。早急な編さん準備が必要であると思いますが、町長並びに教育長の見解を伺います。

野村教育長　町史編さんの準備は、町の歴史や文化の保存機能を確保するため、平成27年3月に郷土資料館「いかりん館」を整備し、資料の収集や管理・活用に努めてきました。町史編さんに係わる内容は、広範囲に及ぶことから、町担当部局との連携が必要であると考えています。教育委員会としては、新年度早々に役場内の検討委員会を立ち上げて進めていきたいと考えています。

再質問　資料館との整合性を持ち編さんとの答弁ですが、別問題でないかと考えます。この6年間、木古内駅開業など多忙であったことは理解しますが、編さん委員がいて進んでいくものと考えています。この編さん委員の任命は、町長か教育長かどちらになりますか。また、ボランティアなのでしょうか。

大森町長　私から任命することになります。報酬等は決めていませんので、選任前に決定をしたいと考えています。

再質問　この委員は、いつ頃までに選任される予定ですか。

野村教育長　庁舎内に検討委員会を立ち上げて行政資料等の収集をしてから、編さん委員を選任したいと考えています。

再質問　考えに違いがあるようですが、編さん委員がいて、準備が進んでいくものと思いますが、6年間何も進んでいない状況を、非常に残念に思います。

大森町長　様々な理由・要因はありましたが、着手に時間を要したことは、紛れもない事実であり、謹んでお詫びしたいと思います。今後は、町政80周年の発刊に間に合うよう庁舎内の組織や編さん委員の選任など、迅速に作業が進むよう所管の教育委員会と連携していきたいと思います。

町政施行40周年（昭和57年）に合わせて
発刊された町史

竹田　努　議員
takeda tsutom

問　道南スギの利活用を推進し、その良さをＰＲすべきでは

答　今後関係業界と検討を進める ―― 町長

平成29年度の町政執行方針について

町政執行方針には、新しい制度を活用した施策も記載されておりますが、町の課題である人口減少と少子高齢化、財政の健全化の視点から、以下の４点について町長の見解を伺います。

(1)介護給付の適正化を図り、安定的な介護保険事業を目指すとありますが、その意気込みや施策等を伺います。

(2)数年で主伐期迎える町有林（スギ材）の地材地消の観点から、リフォーム等への利活用や道南スギの良さを全国に発信し、移住・定住対策に繋げることができないか。

(3)記載のある公営住宅の個別施設計画に、今年度予算計上している港団地の建替え基本設計業務委託は反映されるのか。

(4)人事評価については、どのように評価し、反映させるのか。

大森町長　(1)制度改正の状況や国が示す基本方針を踏まえ、高齢者の自立を支援し、住み慣れた地域で生活が継続できるよう適切な介護サービスの提供を推進していきます。

(2)平成24年４月に地域材利用推進方針を策定し、公共建設物等における地域材の利用に努めています。また、道南の自治体などで構成する道南スギ産地形成推進協議会では、利用促進交流会などを通して道南スギのＰＲを図っています。一方で、リフォーム等の地域材の利活用は、町内で使用するための流通形態が整っていませんので、今後関係業界と検討を進めていきます。

(3)個別施設計画に反映しています。

(4)管理職が課の目標を設定し、全ての職員（管理職含）が個人目標を設定します。その後、面談、中間評価を経て、年度末に最終評価（５段階）をします。この制度は、職員の能力開発と人材育成を目的にし、評価をする側とされる側の双方が業務内容を深く理解し、業績の向上や改善を果たします。また、給与や昇進などへの反映については、評価の妥当性、納得性を高めた上で、実施していくこととします。

道南最大面積を有する当町の道南スギ

相澤　巧　議員
aizawa takumi

問　新幹線の騒音は問題ないか

答　今後、環境基準値はクリアされる ―― 町長

新幹線除雪装置の騒音対策は

北海道新幹線の騒音は、新青森～新函館北斗間の沿線8地点で測定され、住宅地1地点で環境基準値を超え、その超えた地点が当町内との新聞報道がされました。この騒音については、JR北海道または鉄道建設・運輸施設整備支援機構から当町に報告、対策について連絡があったのでしょうか。また、町民からは雪を飛ばす音が非常に大きく、苦痛を感じると言う声も聞きます。町長の見解を伺います。

大森町長　国が定める基準で騒音については、昼間の幹線道路に相当する70デシベル以下に抑えることが求められており、当町の住宅地1ヵ所で75デシベルに達したことで、調査した環境省が国土交通省と北海道に騒音対策を求めています。本件については、当町から鉄道・運輸機構に照会しており、騒音が基準値を超えた事実と平成29年度中の防音壁工事完了時点では基準値がクリアされるとの報告を受けています。

また、エアジェット式除雪装置の騒音は、雪や氷を除去するため、圧縮空気を噴射する際に大きな音が発生します。この装置は、JR木古内駅を挟み新青森側2ヵ所、新函館北斗側の1ヵ所に設置されています。鉄道・運輸機構では、降雪以外の作動停止など軽減対策を検討しています。

開業1周年を迎えた北海道新幹線

鈴木　慎也　議員
suzuki shinya

問　町民の「幸福度」を指標化すべき

答　数値化し、事業へ反映することは難しい ―― 町長

町民の幸福を最優先に事業展開を

内閣府経済社会総合研究所が行った「第1回生活の質に関する調査」によると人々が幸福度の向上や希望を持って生活できる社会の構築のためには、健康状態の向上、雇用の増加策、老後の社会的支援策、子育て支援策の4点の政策的配慮が必要とされています。

「国民の幸福を追求する国」のブータンが国是とするGNHは国民総幸福量を表す指数として世界や日本でも注目され、地方自治体においても導入する動きが出てきています。

当町は、特に少子高齢化が進んでおり、町民が必要としている施策がまだまだ考えられます。そのために町民の声を「幸福度」で指標化し、町民の幸福を最優先に施策の展開をしなければならないと考えます。次の2点について町長の見解を伺います。

(1)町民「幸福度」アンケートの実施

(2)先進的に取り組んでいる他の自治体への情報収集等を踏まえ、町の状況に適した広い角度から検討する考えはありますか。

大森町長　(1)施策を進める過程で様々なアンケート調査は実施していますが、幸福度を調査する考えはありません。これまで実施している町政懇談会などを通じて施策の反映に努めたいと思います。

(2)今後、調査・研究は進めます。

再質問　様々な施策が本当に町民が求めているものなのかを考えなければなりません。事業評価では少し物足りない部分も感じています。幸福度指数があれば、評価するポイントとして活用できると思いますが、事業評価についてどのように考えていますか。

大森町長　事業は、結果が直ぐにわかるものや時間を要するものなど様々なものがあります。そこに幸福度の考えを入れると複雑になっていきますので、本当に幸福度が何かというものをもう一回議論をする必要があるかもしれません。

町民の幸福に繋がる施策を…

総務・経済常任委員会レポート

3月定例会において「所管事務調査報告」が行われました。

総務経済常任委員会は12月定例会以降、所管事務調査を２回にわたり開催し、３月定例会において「所管事務調査報告」が行われました。

調査した事務調査

第９回　２月14日開催
総務・経済常任委員会

○まちづくり新幹線課
・人口減少対策について（継続）
○建設水道課
・公共施設等総合管理計画について

第10回　２月21日開催
総務・経済常任委員会

○病院事業
・木古内町病院事業改革プランについて
○産業経済課
・木古内漁港（釜谷地区）を活用としたヤセウニ対策実証実験について

「いさりび」「恵心園」経営統合協議

老人保健施設内に併設し、経営統合を協議

特別養護護老人ホーム「恵心園」との合併協議をしている介護老人保健施設「いさりび」

「所管事務調査報告」

公共施設等総合管理計画について

平成28年度３月末に完成する「公共施設等総合管理計画」の概要版をもとに計画内容（進捗）が示された。40年後まで推計されている公共施設等の更新費用総額は、約４４３億円であり、我が町の人口推移と照らし合わせると膨大な経費の負担である。

平成29年度に個別施設計画（素案）を作成し３年間の準備期間を経て実施するという計画も示されたが、その内容を見ると大幅な期間の短縮が可能である。

将来を見据えた財政運営等への危機感を強く持ち、個別の施設計画作成と併用して、インフラも含めた施設の統廃合等や諸経費を抑えた維持管理を早急に進めていくべきである。

木古内町病院事業改革プランについて

平成28年第４回定例会でも一部報告しているが、病院事業の様々な課題を考慮し、安定した病院経営を図っていくための新改革プラン策定の骨子が示された。

その中で、策定の趣旨・役割や経営の効率化などの内容については、充分理解するが、完成版の細部については、当病院事業と地域の現状に則し、地域住民の声も反映したプランとなるよう期待する。

老人保健施設「いさりび」について、現在「恵心園」との経営統合（合併）の協議が進んでいるとの報告を受けた。両施設の課題をクリアし、お互いのデメリットを克服する中で、両者が合意できる最終結論を期待する。

最も重要なことは、施設利用者や家族、そして両施設の職員や関係者が納得し、満足できる方向性を導く事である。このことを念頭に置き、協議を進められたい。

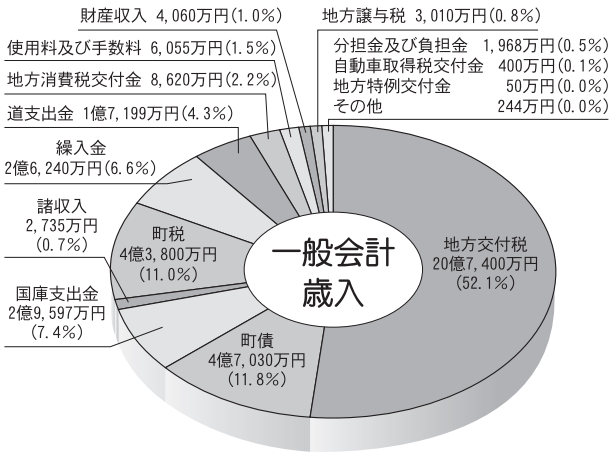
特　集

ここが知りたい！「みんなの予算」をどう使う？

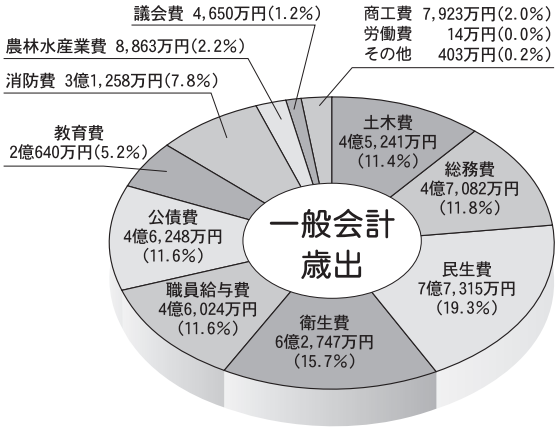
平成29年度　一般会計　予算総額

39億8,408万円

【前年度対比　10.3%減】



歳入予算額　39億8,408万円



歳出予算額　39億8,408万円

町民一人あたりに使われるお金

およそ 915,880円

※３月末現在の人口4,350人で算出

■基金（貯金）の状況

平成29年３月末現在
千円未満四捨五入です。

【前年度比　７億3,364万円増】

基金の種類	総　額
財政調整基金	14億2,443万円
減債基金	251万円
ふるさと振興基金	6万円
地域振興基金	2万円
地域福祉基金	10万円
木古内町教育基金	241万円
まちづくり応援基金	1,880万円
木古内町企業振興促進基金	1億9,680万円
計	**16億4,513万円**

※江差代替輸送確保基金及び旧江差線施設解体撤去事業準備基金を除く

■町債（借金）の状況

平成29年３月末現在
千円未満四捨五入です。

	平成29年度末（見込み）	前年度比
一般会計	57億2,038万円	1億1,005万円
下水道事業（特別会計）	12億8,402万円	△2,316万円
水道事業（企業会計）	5億5,340万円	△2,130万円
国保病院（企業会計）	16億1,724万円	8,190万円
老健施設（企業会計）	5億2,736万円	△5,796万円
計	97億240万円	8,953万円

← 次ページ　「みんなの予算」事業の概要

１次産業、２次産業
を活用した事業展開

新規事業

ヤセウニ対策実証事業	352万円

継続事業

１次産業後継者支援事業	493万円
褐毛和種優良繁殖雌牛導入事業	140万円
はこだて和牛ブランド化推進事業	325万円
森林環境保全整備事業	2, 408万円
狩猟免許等取得補助金	65万円
ヒジキ養殖技術導入事業	711万円
	など

北海道新幹線を核とした観光推進関連事業

新規事業

観光交流センター広場整備工事	3, 500万円
薬師山展望台等整備事業	1, 850万円

継続事業

プレミアム商品券発行事業	1, 070万円
観光スポット看板設置事業	120万円
都市計画道路環状線通整備事業	１億500万円
新幹線駅ＰＲ促進事業	501万円
広域観光推進事業	366万円
	など

予算８つのキーワード

産業　観光　教育　住民

教育・体育環境の改善と向上 ゆたかな文化を育む事業

新規事業

放課後児童健全育成事業（学童保育）	535万円
泉沢地区スクールバス待合所新設工事	150万円
木古内小学校児童用机・イス購入	383万円
教師用パソコン更新事業	596万円
野球場夜間照明制御盤改修工事	572万円

継続事業

外国語指導助手（ＡＬＴ）配置事業	431万円
スクールバス運行事業	598万円
学校給食センター運営事業	4, 933万円
高等学校通学支援事業	248万円
	など

住民サービス向上と行政事務効率化事業

新規事業

木古内町町政要覧作成事業	443万円
道路台帳図補正・データ化事業	537万円
農業振興地域整備計画見直し事業	400万円
木古内町マスタープラン見直し事業	849万円
町道等舗装補修工事	830万円
本町地区排水路補修工事	400万円
公営住宅長寿命化計画作成事業	400万円
前浜団地外壁屋上防水改修工事	2, 650万円
港団地建替事業（基本設計）	400万円
	など

地域医療
の確保対策事業

3億8，721万円

主要事業

新規事業

医療送迎バス更新事業	874万円

継続事業

ドクターヘリ負担金	264万円
医療機関送迎バス運行事業	518万円
国保病院事業会計負担金	3億7,064万円

少子高齢者化社会
における保健福祉増進事業の継続と拡充

1億8，560万円

主要事業

新規事業

高齢者等入浴無料券交付事業	541万円

継続事業

各種がん・妊婦検診助成・予防接種等委託事業	2,489万円
訪問・外出支援サービス事業	771万円
妊産婦安心出産支援事業	71万円
乳幼児医療給付事業	912万円
高齢者世帯等除雪サービス事業	372万円
	など

平成29年度一般会計

医療　福祉　移住　安全

人口減少対策事業
（企業振興・移住定住対策）

1，241万円

主要事業

新規事業

企業誘致、移住促進対策ＰＲ経費	53万円
空き家リフォーム助成事業	600万円
地方創生広域連携事業	63万円

継続事業

企業振興促進助成事業	525万円

安全安心な町づくり実現のための
防災・防犯対策事業

3億4，626万円

主要事業

新規事業

橋梁長寿命化事業（吉堀橋補修工事）	2,800万円
消防庁舎等改修工事（負担金）	5,889万円
泉沢機械器具置場(消防)改築工事(負担金)	1,499万円
消防ポンプ自動車更新（負担金）	4,399万円
産業会館耐震改修事業	6,410万円

継続事業

橋梁長寿命化事業（戊申橋補修工事）	4,000万円
防犯灯料金・設置・補修補助事業	640万円
防災行政無線運営事業	270万円
	など

平成29年度 予算等審査特別委員会

予算等審査特別委員会に付託された議案

議案第１号
　平成29年度木古内町一般会計予算
議案第２号
　平成29年度木古内町国民健康保険特別会計予算
議案第３号
　平成29年度木古内町後期高齢者医療特別会計予算
議案第４号
　平成29年度木古内町国民健康保険病院事業会計予算
議案第５号
　平成29年度木古内町水道事業会計予算
議案第６号
　平成29年度木古内町介護老人保健施設事業会計予算
議案第７号
　平成29年度木古内町介護保険事業特別会計予算
議案第８号
　平成29年度木古内町介護サービス事業特別会計予算
議案第９号
　平成29年度下水道事業特別会計予算
議案第17号
　木古内町放課後児童健全育成事業条例制定について
議案第18号
　木古内町高齢者等入浴無料券交付条例制定について
議案第19号
　議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する支給条例の一部を改正する条例制定について
議案第20号
　特別職等の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する支給条例の一部を改正する条例制定について
議案第21号
　職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について
議案第22号
　木古内町長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について

人口減少対策は まだまだ ボリューム不足

新規福祉施策 教育環境整備などは評価に値する

「審査所見」

３月３日から10日までの日程で、平成29年度各会計予算９件並びに予算関連議案６件について、慎重に審議を行った。

一般会計予算額については、駅周辺駐車場等を含む新幹線関連事業を終えたこともあり、前年対比約４億５７００万円（△10．３％）の減で歳入歳出それぞれ約39億８４００万円となっている。また、各特別会計並びに公営企業会計を合わせると、前年対比約５億１８００万円（△５．８％）の減で約83億６８００万円である。

予算編成の内容を見ると、近年の安定した財政運営が反映され、新規での福祉施策や町民視点のサービス施策の継続、また、児童・生徒の声に応えた学校関係の環境整備等が充分に組み込まれたことは評価に値する。

一方、人口減少対策等については、新規事業がいくつか盛り込まれたが、まだまだボリューム不足と思われる。人口減少対策検討会議や総合戦略策定推進委員会で「効果ある施策」を目標に更なる協議・検討を進め、積極的事業（施策）の追加実施を望む。

また、第６次振興計画に沿った港団地建替基本設計の業務委託料が予算計上されているが、今後作成される公営住宅長寿命化計画と公共施設等総合管理計画との整合性が図られた基本設計を作成されたい。さらに築40年を超える公民館については、水周りやトイレの不具合が多々見られるため、早急に対策の方向性を整えるべきである。

病院事業では、平成30年以降の診療報酬改定や老人保健施設と特別養護老人ホームの経営統合に向け新年度は、重要な準備の年にあたる。現状の諸課題クリアに向け、新改革プランの策定については、慎重審議のなか早期完成を望む。

上下水道事業は、簡易水道事業移行調査や公共下水道事業全体計画完成後の様々な協議等、業務の多忙化が予測されるが、健全な事業運営を目指すことはもとより、町民の声も充分に反映された事業運営を望む。

全体的な予算を見ると、計画書作成等を含む業務委託料の中で大きな予算の計上が目立っている。現状の業務上では、必要な予算計上と理解するが、経費削減は、将来に向けての恒久的なテーマでもあることから、今後の業務委託料については、行財政運営の課題としたい。

平成29年度は、北海道新幹線開業から１年が経過し、最重要課題である人口減少対策を

含む今後の町づくりの方向性が注視される年になる。引き続き、国や道の地方への財政支援策を有効活用するとともに、当委員会で出された様々な意見を踏まえ、当町の抱える諸課題の解決に向け鋭意努力されたい。

予算審査を終えて

予算等審査特別委員会
委員長　平野　武志

新年度予算の概要や審査状況については、11～15Pに記載しておりますが、新規事業や質疑を含め、お知らせしきれない様々な議論がありました。

予算委員会は、町の未来が決まるとても重要な委員会です。そのような観点から、今後は、もう少し開催のお知らせを工夫するなど、多数の傍聴者が来られる環境づくりに努めてまいります。

今後も、より良い町づくりのために、議会傍聴をはじめ、議会へのご意見もお待ちしております。

予算質疑　ここを聞く！

予算キーワード　福祉

高齢者等入浴券の使い方は？

竹田委員　75歳以上の方に年間12枚を配付し、施設等入所した場合は入浴券を返還する仕組みになっています。入浴券の使い方としては、４月券、５月券など１ヶ月に１度しか使用できないという考えになりますか？１ヶ月で何枚も使用できないのですか？

また、配付方法はどうように行いますか？

羽沢保健福祉課長　あくまで外に出て行く機会を増やしてもらうことが目的であり、月の限定はなく１年間の間で12枚を使用していただくことになります。券の返還については、もし使用していない券がある場合には返していただくことになります。

また、配付方法は、遠い地区などへ出向くなどの配慮をし、配付漏れのないようにします。

予算質疑　ここを聞く！

予算キーワード　観光

薬師山展望台のデザイン構想は？

新井田委員　薬師山展望台の新設イメージ図では、少し迫力不足の印象があります。今後、整備の中で簡易トイレ、自動販売機設置など全体の修正は考えていますか？

木村産業経済課長　簡易トイレや自動販売機の設置については、場所的な問題や維持管理を考えると、難しいことが考えられますが、形状を含め検討していきます。

Vol. 138 2017. 5. 1
木古内町議会だより

町民インタビュー No.3

～ 老若男女 木古内町民のインタビューを発信します ～

プロフィール

駒木（こまき） 絵美（えみ）さん

木古内町生まれ本町地区在住
木古内町社会福祉協議会で「声かけ訪問員」として勤務

仕事では、持ち前の明るさで一人暮らしの高齢者に元気を与え、家庭においても、３児の育児と家事を両立し、毎日忙しい日々を送っているお母さんです。

―― 仕事内容について、お伺いしてもよろしいですか？

一人暮らし高齢者の安否確認などを主にしています。訪問の際には、世間話をさせてもらう中で、子育てをはじめ、いろいろ貴重なお話しを聞く機会があり、人生勉強をさせてもらっています。

―― 木古内町で暮らして、子育てや生活面で良いところや改善してほしいところはありますか？

他町に比べても子育てに対する相談や助成制度がしっかりしていると思います。
雨天時でも子どもたちが遊べるような施設が、もう少しあればうれしいです。

―― 議会に対して意見や要望はありますか？

議会中継や議会だより発行などにより情報提供がありますが、議会の役割など、まだ町民にはわかりにくいこともあると思いますので、より身近に感じられる議会を目指してほしいです。

また、以前議会だよりで掲載があったかもしれませんが、過去の質問が現在どのような結果になっているかなど、追跡報告があればいいと思います。（インタビューアー：手塚委員）

編集後記

■北海道新幹線が開業一周年を迎え、沿線自治体にも波及効果がもたされました。「みそぎの郷木古内」では、60万人の来館者を迎えることができました。本年度もおもてなしの心をもって多くの方に来町していただきたいと思います。

■本年度の予算は、新幹線関連事業の終了に伴い、一般会計約４億５千万円減の約39億８千４百万円となり、企業会計、特別会計と合わせ約83億６千８百万円となりました。32項目の新規事業も計画されており、なかでも高齢者の健康維持の為の入浴券発行や町営の学童保育も始まります。

■議会では住みよい街作りのために、皆さんの声を行政に届けてまいりますので、広くご意見をお寄せください。

議会だより編集特別委員会
委員　手塚　昌宏

発行／木古内町議会
編集／議会だより編集特別委員会

住所／〒049-0422 北海道上磯郡木古内町字本町218番地
TEL (01392) 2-3131 FAX (01392) 2-3622